




時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2-4時間 教科書 p.8	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	すきなことなあ に	「あらわしたいばめんの かき方をくふうする」こ とを通して、形や色、方 法や材料を工夫する力を 培う	日常生活でしたことや見たことの喜びや驚きを素直 にのびのびと絵にかく楽しさを味わう。学校や家で、 友達や家族と遊んだこと、楽しいことやおもしろいと 感じたことなどから好きなことを見つける。表したい 場面を思い浮かべながら、クレヨンやカラーペンなど を用いて、表し方を考えて表す。 〔共通事項〕との関連 したことや見たことから感じたことなどを見つけ、 好きな色を選ぶなどしながら形や色をとらえ、これを もとに表したいことについてのイメージをもつ。	関：したことや見たことからかきたい ことを見つけて絵に表すことを楽し む。 発：したことや見たことから心に残ったこと を思い浮かべ、表したい場面を考えている。 創：好きな色を選んだり、気に入った色にな るように表し方を考えたりしながら、自分の 表し方でかいている。 鑑：作品を見て感じたことを話したり、友達 の話の聞いたりするなどして、よさや工夫を見 つけながら楽しく見ている。	関：したことや見たことからかきたいことを見つ けて絵に表すことを楽しんでいる。 発：したことや見たことから心に残ったこと を思い浮かべ、表したい場面を考えている。 創：好きな色を選んだり、気に入った色にな るように表し方を考えたりしながら、自分の 表し方でかいている。 鑑：作品を見て感じたことを話したり、友達 の話の聞いたりするなどして、よさや工夫を見 つけながら楽しく見ている。	関：したことや見たことからかきたいことを見つ けて絵に表すことに強い関心をもって楽しんでき ている。 発：したことや見たことから心に残ったことを思 い浮かべ、豊かに発想して表したい場面を考えて いる。 創：好きな色を選んだり、気に入った色になるよ うに表し方を考えたりしながら、積極的に表現に 生かす工夫をしている。 鑑：作品を見て感じたことを話したり、友達の話を 聞いたりするなどして、自他のよさや工夫を豊 かに味わいながら進んで楽しく見ている。	教師：画用紙、色画用紙 (八つ切り、16切りな ど) 児童：クレヨン、パス、 カラーペンなど
2-4時間 教科書 p.9	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	くつつき マスコット	「じしゃくでくつつく マスコットをくふうす る」を通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	磁石の特性を生かしながら、紙粘土で好きな形をつ くり、遊べるものや飾れるものをつくる。好きな形をつ くり、裏に磁石をつけて、用途に合う形や仕組み、 模様や色を工夫して、実際に使えるものをつくる。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して紙粘土を使い、形や色、 質感をとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関：磁石でくつつく遊べるものや飾りをつく ることを楽しむ。 発：くつついたり、離れたりする磁石 の特性を生かしたものを考える。 創：使って楽しめるくつつけ方や形を 工夫して表す。 鑑：交換して遊んだり、実際に使った りして、互いの作品のよさを見つける。	関：磁石でくつつく遊べるものや飾りをつく ることを楽しんでいる。 発：くつついたり、離れたりする磁石の特性 を生かしたものを考えている。 創：使って楽しめるくつつけ方や形を工夫し て表している。 鑑：交換して遊んだり、実際に使ったりし て、互いの作品のよさを見つけている。	関：磁石でくつつく遊べるものや飾りをつくるこ とを積極的に楽しんでいる。 発：くつついたり、離れたりする磁石の特性を効 果的に生かしたものを考えている。 創：使って楽しめるくつつけ方や形を試行錯誤を 繰り返しながら、工夫して表している。 鑑：交換して遊んだり、実際に使ったりして、互 いの作品の特徴をとらえながら、そのよさを見つ けている。	教師：紙粘土、磁石 児童：絵の具
4時間 教科書 p.10-11	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さやたのしさを経 験させ、心を開く	えのぐじま	「ふでで 絵のぐをぬる ことを たのしむ」こと を通して、心を開き、楽し く活動する力を培う	自分の感覚を形や色にたとえ、絵の具をぬる快さ、 気持ちよさを味わいながら、心を開いて思いのままに 表すことの楽しさを知らせる内容である。ここでは、 「えのぐじま」や「にじのふるさと」などの言葉から 思いついた形や色でぬって(ペインティング)表す。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色をとらえ、これ をもとに自分のイメージをもつ。	関：自分の感覚を大切に、心を開いて 形や色、ものの感じを水彩絵の具でか く快さや楽しさを味わう。 発：「えのぐじま」「にじのふるさと」 などの言葉から思いついた形や色、 筆触などの感じを思いつく。 創：形や色、筆触の違いを生かし、 様々な「えのぐじま」の表情を工夫す る。 鑑：互いの表現のよさを参考にしなが ら、様々な表現が生まれるよさを認め 合う。	関：自分の感覚を大切に、心を開いて形や 色、ものの感じを水彩絵の具でかく快さや楽し さを味わっている。 発：「えのぐじま」「にじのふるさと」な どの言葉から思いついた形や色、筆触などの感 じを思いついている。 創：形や色、筆触の違いを生かし、様々 な「えのぐじま」の表情を工夫している。 鑑：互いの表現のよさを参考にしながら、 様々な表現が生まれるよさを認め合 っている。	関：自分の感覚を大切に、心を開いて形や色、も のの感じを水彩絵の具でかく快さや楽しさを積極 的に味わっている。 発：「えのぐじま」「にじのふるさと」な どの言葉から思いついた形や色、筆触などの感 じを豊かに思いついている。 創：形や色、筆触の違いを効果的に生かし、様々 な「えのぐじま」の表情を十分工夫している。 鑑：互いの表現のよさを深く味わったり参考にし たりしながら、様々な表現が生まれるよさを積極 的に認め合っている。	教師：四つ切り画用紙、 ポスターカラー等の共同 絵の具、絵の具の容器と 太い筆 児童：太い筆(筆は教師ま たは児童が持っている太 い筆 約30本)
2時間 教科書 p.12	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	「土」って 気持ちがいい	「土や すななどで、体 ぜんたいをつかった活 どりを たのしむ」こと を通して、心を開き、楽し く活動し、友達と関わり 合う力を培う	手や素足で土や砂を使って、山にしたり、トンネル をほったり、水を加えて泥にしたりして、土や砂の触 り心地を体全体を使って楽しむ造形遊びの活動であ る。 〔共通事項〕との関連 土や砂の感触から、やってみたいことを思いつき、 活動を通して自分のイメージをもつ。	関：土や砂の触った感じを味わいなが ら思いついたことを、体全身を使って 行う。 発：体全体で土や砂と関わり、その感 触や形などの変化に気づき、やりたい ことを思いつく。 創：土や砂と関わりながら、固める、 ほる、盛り上げるなどの工夫をする。 鑑：土や砂のよさを体全体で感じ取 り、自分や友達の活動や表現のよさに 気づき、認め合う。	関：土や砂の触った感じを味わいなが ら思いついたことを、体全身を使って行 っている。 発：体全体で土や砂と関わり、その感 触や形などの変化に気づき、やりたいこ を思いついている。 創：土や砂と関わりながら、固める、 ほる、盛り上げるなどの工夫をしてい る。 鑑：土や砂のよさを体全体で感じ取り、自 分や友達の活動や表現のよさに気づ き、認め合っている。	関：土や砂の触った感じを味わいなが ら思いついたことを、積極的に体全身を 使って行っている。 発：進んで体全体で土や砂と関わり、 その感触や形などの変化に気づき、意 欲的にやりたいことを思いついてい る。 創：土や砂と関わりながら、固める、 ほる、盛り上げるなど、独自の工夫 をしている。 鑑：土や砂のよさを体全体で豊かに感 じ取り、自分や友達のいろいろな活 動や表現のよさに気づき、認め合 っている。	教師：土、砂、バケツ、 ホース 児童：タオル

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.13	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	※ にじいろコレク ション	「色水のつくり方や なべ方をためしたり、見 つけたりする」ことを通 して、試したり、見つけ たり、考えたりして、思 いつく力を培う	水に絵の具やインクを混ぜて色水をつくり、透明の 容器に移して色を比べたり、光にかざして見たりす る。たくさん色水から好きな色を集めたり、色の特 徴に注目し、友達と並べ方を工夫したりしながら、色 のよさやおもしろさを発見する。 〔共通事項〕との関連 色水をつかったり、それらを並べたりしながら、形 や色の感じをとらえ、これをもとに活動のイメージを もつ。	関：色水をつかったり、並べたりする ことを楽しむ。 発：色水を使って、やってみたいこと を思いつく。 創：好きな色水のつくり方や並べ方を 工夫する。 鑑：色水をつかったり並べたりするお もしろさを見つける。	関：色水をつかったり、並べたりする ことを楽しんでいる。 発：色水を使って、やってみたいこと を思いついている。 創：好きな色水のつくり方や並べ方を 工夫している。 鑑：色水をつかったり並べたりするお もしろさを見つけている。	関：色水をたくさんつかったり、積極 的に並べたりすることを楽しんでい る。 発：色水を使って、やってみたいこと を次々と思いついている。 創：好きな色水のいろいろなつくり 方や並べ方を進んで工夫している。 鑑：色水をつかったり並べたりする おもしろさを数多く見つけている。	教師：共同絵の具、イン ク（染料） 児童：ペットボトル、透 明容器
2時間 教科書 p.14	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	つづきえ どんだん	「紙のつなぎ方をため したり、見つけたりして お話を思いつく」ことを 通して、試したり、見 つけたり、考えたりする 力を培う	好きなものなどをもとに1枚目の絵をかく。次に、 初めにかいた絵をもとにお話を考えながら2枚目、3 枚目と続きの絵をかいていく。これを繰り返し、想像 を広げていく楽しさを味わいながら、自分らしい造 形的な表現を追求したり、発見したりする。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、かいた絵の形や色をと らえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関：お話を考えながら、絵をかくこと を楽しんでいる。 発：表したい続きのお話を見つけて いる。 創：お話に合わせて表したいものか き方や紙の貼り方を工夫する。 鑑：みんなのお話のおもしろさを見 つける。	関：お話を考えながら、絵をかくこと を楽しんでいる。 発：表したい続きのお話を見つけて いる。 創：お話に合わせて表したいものか き方や紙の貼り方を工夫している。 鑑：みんなのお話のおもしろさを見 つけている。	関：お話を考えながら、積極的に絵を かくことを進んで楽しんでいる。 発：次々と表したい続きのお話を見 つけている。 創：お話の内容がわかるように、表し たいものについて効果的なかき方 や紙の貼り方をいろいろと工夫し ている。 鑑：かき方や紙の貼り方などの特徴 をとらえ、みんなのお話のおもしろ さを積極的に見つけている。	教師：小さく四角く切 った画用紙(約10cm四方一人 10枚程度) 児童：クレヨン、パス、 カラーペン、セロハン テープ
4時間 教科書 p.15	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	ギュツとした わたしの「お友 だち」	「もんだ紙をふくらませ、 思いついた「お友だち」の形や色 をくふうする」ことを通して、 形や色、方法や材料を工夫 する力を培う	まずクラフト紙を手でもんで柔らかくし、二つに 折って、動物などの自分の好きな形をかいてはさみで 2枚重ねて切り取る。次に木工用接着剤で袋のように 貼り、中にもんで丸めた新聞紙を詰めて形をつくる。 紙はもむと柔らかくなり、触り心地がよくなる性質を 生かしてつくる。 〔共通事項〕との関連 もんだ紙の感触を味わいながら、自分の感覚や活動 を通して、形や色をとらえ、これをもとに自分のイ メージをもつ。	関：もんだ紙で自分の「お友だち」を つくることに興味や関心をもつ。 発：もんだ紙の感触を味わいなが ら、自分の表したい「お友だち」 を考えたり、思いついたりする。 創：紙の大きさや触り心地など材 料の特徴から、思いついた「お 友だち」の形や色を工夫する。 鑑：自分や友達の作品の触り心 地のよさやおもしろさなどを見 つけ、味わう。	関：もんだ紙で自分の「お友だち」 をつくることに興味や関心をも っている。 発：もんだ紙の感触を味わいなが ら、自分の表したい「お友だち」 を考えたり、思いついたりして いる。 創：紙の大きさや触り心地など材 料の特徴から、思いついた「お 友だち」の形や色を工夫して いる。 鑑：自分や友達の作品の触り心 地のよさやおもしろさなどを見 つけ、味わっている。	関：もんだ紙で自分の「お友だち」 をつくることに強い興味や関心 をもって積極的につくっている。 発：もんだ紙の感触を十分に味 わいながら、自分の表したい「お 友だち」を意欲的に考えたり、 思いついたりしている。 創：紙の大きさや触り心地など材 料の特徴を効果的に生かして、 思いついた「お友だち」の形や 色を工夫している。 鑑：自分や友達の作品の触り心 地のよさやおもしろさなどを見 つけたり、味わったりして、進 んで話し合うなどしている。	教師：クラフト紙(一人全 紙1枚)、木工用接着剤、 マーカー 児童：はさみ、新聞紙、 色紙、カラーペン
4-6時間 教科書 p.16-17	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	どうぶつさんと いっしょに	「あらわしたいばめんの かき方をくふうする」こと を通して、形や色、方 法や材料を工夫する力を 培う	学校や家庭などで動物と遊んだことをいろいろ思 い出しながら、好きな動物と自分との関わり合いを周囲 の情景も含めて表すようにする。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色をとらえ、これ をもとに自分のイメージをもつ。	関：動物と遊びながら見たこと、心 に残ったことを絵に表すことを 楽しむ。 発：動物と遊んだことの中から心 に残ったことを思い浮かべ、表 したい場面を考える。 創：好きな色を選び、気に入った 形になるように工夫して表す。 鑑：自分や友達の作品を見なが ら、よさを見つける。	関：動物と遊びながら見たこと、心 に残ったことを自由に絵に表す ことを楽しんでいる。 発：動物と遊んだことの中から心 に残ったことを思い浮かべ、表 したい場面を考えている。 創：好きな色を選んだり、気に 入った形になるように工夫し たりして、自分の表し方で表 している。 鑑：自分や友達の作品を見なが ら、よさを見つけ話し合っ ている。	関：動物と遊びながら見たこと、心 に残ったことを自分の方法で自 由に絵に表すことを楽しん でいる。 発：動物と遊んだことの中から心 に残ったことを豊かに思い浮 かべ、表したい場面を進んで 考えている。 創：好きな色を選んだり、気に 入った形になるように工夫し たりして、自分の表し方で効果 的に表している。 鑑：自分や友達の作品を見なが ら、いろいろなよさを見つけ、 積極的に話し合っている。	教師：画用紙(四つ切り、 または八つ切り)、(色画 用紙)、共同絵の具 児童：クレヨン、パス、 カラーペン

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.20-21	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	ひみつの グアナコ	「ねん土で づくり方を ためしたり、見つけたり して、ことばから そうぞ うした 生きものを 思い つく」ことを通して、試 したり、見つけたり、考 えたりして、思いつく力 を培う	土粘土の感触を味わいながら、「グアナコ」という 言葉からイメージを広げ、自分の考えた生き物や動物 を想像し、粘土の塊をのぼしたり、丸めたり、つまみ 出したり、組み合わせたりして、つくりながら工夫す る。 油粘土でも同様の活動をすることができる。また、 「グアナコ」以外にも、「パラル」 「オカピ」など の名前の動物からイメージを広げることできる。 〔共通事項〕との関連 粘土の感触を味わいながら、想像をふくらませて、 自分のつくりたいもののイメージをもつ。	関 ：言葉から想像した動物や生き物をつくる ことに興味や関心をもつ。 発 ：言葉のもつイメージから発想を広 げ、自分の「グアナコ」を、粘土を操 作しながら思いつく。 創 ：粘土を操作しながら自分の表す形 を追求し、自分のイメージに合う表現 を工夫する。 鑑 ：自分と友達のよさや工夫したこ とを感じ取る。	関 ：言葉から想像した動物や生き物をつくる ことに興味や関心をもっている。 発 ：言葉のもつイメージから発想を広げ、自 分の「グアナコ」を、粘土を操作しながら思 いついている。 創 ：粘土を操作しながら自分の表す形を追求 し、自分のイメージに合う表現を工夫してい る。 鑑 ：自分と友達のよさや工夫したことを感じ 取っている。	関 ：言葉から想像した動物や生き物をつくること に強い興味や関心をもっている。 発 ：言葉のもつイメージから豊かな発想を広げ、 自分の「グアナコ」を、粘土を操作しながら次々 と思いついている。 創 ：粘土を操作しながら自分の表す形を十分に追 求し、自分のイメージに合う表現になるように積 極的に工夫している。 鑑 ：自分と友達のよさや工夫したことを深く感じ 取っている。	教師 ：土粘土(一人1kg程 度)、粘土板、粘土べら 児童 ：(油粘土)、タオル
2-4時間 教科書 p.22	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	コロコロ大さく せん！	「ころがり方を ためした り、見つけたりして、ら ごく おもちゃを 思いつ く」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	転がすボディ部分と転がるエンジン部分の組み合わ せを考えて、転がると楽しいおもちゃをつくる。ボ ディ部分には空き容器や空き箱など、エンジン部分 にはビー玉やゴムボールなどを使い、何がどのように転 がったら楽しいかを考えたり、見つけたり、試したり して工夫する。ボディ部分は色紙や身辺材などで加飾 してつくる。 〔共通事項〕との関連 コロコロと転がる仕組みから思いついた形や色の組 み合わせを考えて、自分のつくりたいおもちゃのイ メージをもつ。	関 ：動きの特徴に関心をもち、いろい ろな材料やつくり方を試しながらつくる。 発 ：転がる動きや、重りにかぶせる容 器などの特徴からつくりたいもののイ メージを広げる。 創 ：よりよい動きや、動きの特徴に合 う装飾を工夫しながらつくる。 鑑 ：友達といっしょに動かしたり遊ん だりして楽しむ。	関 ：動きの特徴に関心をもち、いろい ろな材料やつくり方を試しながらつくっている。 発 ：転がる動きや、重りにかぶせる容 器などの特徴からつくりたいもののイメ ージを広げている。 創 ：よりよい動きや、動きの特徴に合 う装飾を工夫しながらつくっている。 鑑 ：友達といっしょに動かしたり遊ん だりして楽しんでいる。	関 ：動きの特徴に強い関心をもち、いろい ろな材料やつくり方を試しながら積極的につくってい る。 発 ：転がる動きや、重りにかぶせる容 器などの特徴から何がどのように転が ったらおもしろいか、 つくりたいもののイメージを豊かに広げている。 創 ：よりよい動きや、動きの特徴に合 う装飾を効果的に工夫しながら進んでつくっている。 鑑 ：友達といっしょに動かしたり遊んだりして、 話し合いながら積極的に楽しんでいる。	教師 ：色画用紙、厚紙、 マップピン、軽量紙粘 土、立体シール、坂道用 の板 児童 ：空き容器や空箱、 テープなどの芯、ビー 玉、ゴムボール(スーパ ーボール)、ゴルフボール、 ガチャポン容器、身辺 材、カラーペン、はさ み、セロハンテープ、化 学接着剤
2-4時間 教科書 p.23	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	ぼかしあそびで	「いろいろな ぼかし方を くふうする」ことを通し て、形や色、方法や材料 を工夫する力を培う	クレヨンやコンテ、パスなどの描画材を用いたぼか し遊びから模様づくりを楽しみ、できた模様からイ メージをふくらませて、思いついたことをかき足し、 絵に表す内容である。 〔共通事項〕との関連 ぼかし遊びからできた模様から形や色をとらえ、表 したいことや自分のイメージをもつ。	関 ：クレヨンやパスなどの描画材料を 用いたぼかし模様をつくる楽しさを味 わう。 発 ：自分の気に入った形や色、模様を 発見しながらイメージをふくらませ る。 創 ：模様づくりをいろいろ試みなが ら、思いついたことを表すための工夫 をする。 鑑 ：自分や友達のぼかした模様づく りのおもしろさや表したもののよさに 気づく。	関 ：クレヨンやパスなどの描画材料を用いた ぼかし模様をつくる楽しさを味わっている。 発 ：自分の気に入った形や色、模様を発見し ながらイメージをふくらませている。 創 ：模様づくりをいろいろ試みながら、思 いついたことを表すための工夫をして いる。 鑑 ：自分や友達のぼかした模様づくりの おもしろさや表したもののよさに 気づいている。	関 ：クレヨンやパスなどの描画材料を用いたぼ かし模様をつくる楽しさを積極的に味わっている。 発 ：自分の気に入った形や色、模様を発見しな がらイメージを豊かにふくらませている。 創 ：模様づくりを積極的にいろいろ試みなが ら、思いついたことを表すための効果的な工夫をして いる。 鑑 ：自分や友達のぼかした模様づくりのいろ いろなおもしろさや表したもののよ さによく気づいている。	教師 ：コンテ、黒板用 チョーク、画用紙、色画 用紙(四つ切り、八つ切 り) 児童 ：クレヨン、パス、 ティッシュペーパー、は さみ
2時間 教科書 p.24	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	切って、ひねつ て、つなげると	「紙パックの 切り方や ひねり方、つなぎ方を た めしたり、見つけたりす る」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	牛乳パックや紙コップなどを切り開いて、ひねった り、ホチキスでつなげたりして、形を変化させていく 楽しさを味わう。ばらばらにならないように切り開 き、新しい形につくり変えたりつなげたりして、立体 的な形やひねったことによってできる空間を楽しむ造 形遊びの内容である。 〔共通事項〕との関連 牛乳パックや紙コップを切り開いたり、ひねった り、つなげたりする活動を通して、形や色をとらえ、 これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：パックを切り開いて、つなげて形 を変えていく活動を楽しむ。 発 ：パックを切り開いて、つなげてい くとどのような形ができるか発想を 広げる。 創 ：パックの切り方やひねり方、つな げ方を試し、新しい形を見つけなが ら工夫して表す。 鑑 ：友達の作品とつなげたり、つく ったものを飾ったりしながら、自分 や友達の活動や表現のよさを味わ う。	関 ：パックを切り開いて、つなげて形を 変えていく活動を楽しんでいる。 発 ：パックを切り開いて、つなげてい くとどのような形ができるか発想を 広げている。 創 ：パックの切り方やひねり方、つな げ方を試し、新しい形を見つけなが ら工夫して表している。 鑑 ：友達の作品とつなげたり、つく ったものを飾ったりしながら、自分 や友達の活動や表現のよさを味 わっている。	関 ：パックを切り開いて、つなげて形を 変えていく活動を積極的に楽しんでいる。 発 ：パックを切り開いて、つなげてい くとどのような形ができるか豊かに 発想を広げている。 創 ：パックの切り方やひねり方、つな げ方を進んで試し、新しい形を見 つけながら工夫し、効果的に表 している。 鑑 ：積極的に友達の作品とつなげ たり、つくったものを飾ったりし ながら、自分や友達の活動や表 現のよさを十分味わっている。	教師 ：ホチキス 児童 ：牛乳パック、紙 コップ、はさみ

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4時間 教科書 p.25	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、心を開く	キラキラシャボ ンで	「あわの 形や 色から 思 いついたことを かい てのしむ」ことを通し て、造形表現活動の快 さや楽しさを経験させ、心 を開き、楽しく活動する 力を培う	石鹸水と絵の具で色シャボン水をつくり、長くつな いだストローで吹いて泡立たせ、容器の上に出てきた 泡の形を画用紙に写してできる模様づくりを楽しむ。 何枚か繰り返し試み、模様づくりの工夫をする。乾か した後、写した泡の模様を生かし、思いついたことを もとにお話を考えながらクレヨンやカラーペンでかき 足し、自分の思いを深めていく。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、泡でできる模様の形や 色をとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：泡で模様をつくり、絵に表すこと を楽しむ。 発 ：できた泡の形や色から表したいお 話を見つける。 創 ：見つけたお話に合わせて表したい もののかき方を工夫する。 鑑 ：みんなの作品の泡の模様やお話の おもしろさを見つける。	関 ：泡で模様をつくり、絵に表すこと を楽しんでいる。 発 ：できた泡の形や色から表したいお 話を見つけている。 創 ：見つけたお話に合わせて表したいもの のかき方を工夫している。 鑑 ：みんなの作品の泡の模様やお話のおも しろさを見つけている。	関 ：泡でいろいろな模様をつくり、絵に表すこと を進んで楽しんでいる。 発 ：できた泡の形や色から表したいお話を 見つけ、豊かにイメージをふくらませている。 創 ：見つけたお話に合わせて、泡の模様を効果 的に生かしながら、表したいもののかき方を工夫し ている。 鑑 ：みんなの作品の泡の模様のよさやお話のおも しろさを積極的に見つけている。	教師 ：石鹸、洗剤、共同 絵の具、画用紙、色画用 紙（四つ切り、八つ切 り） 児童 ：ストロー（一人3 本）、クレヨン、パス、カ ラーペン、空き容器(カッ プ類)、エブロンやスモッ ク、セロハンテープ
2時間 教科書 p.26-27	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	ちきゅうからの おくりもので	「しぜんの ざいりょうの ならべ方や 組み合わせ方 を ためしたり、見つけた りする」ことを通して、 試したり、見つけたり、 考えたりして、思いつく 力を培う	落ち葉や小枝、木の実などの自然材料の形や色のお もしろさを見つめながら、造形的な活動をする造形遊 びの内容である。また、様々な実情で落ち葉などの自 然材料を入手できない地域や学校には、落ち葉の代わ りに割り箸でも活動できるようにした。 〔共通事項〕との関連 自然材料の並べ方や組み合わせ方を試しながら、形 や色をとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：自然の材料を集め、形や色などか ら思いついた活動を楽しむ。 発 ：集めた材料の形や色、材質などか ら活動を思いついたり、考えたりす る。 創 ：自然の材料に関わり、思いついた ことや考えたことを表す。 鑑 ：自然の材料のよさや自他の活動の よさ、工夫などを感じ取る。	関 ：自然の材料のよさなどに関心を持って集 め、形や色などから思いついた活動を楽しん でいる。 発 ：集めた材料の形や色、材質などから活動 を思いついたり、考えたりしている。 創 ：体全体で自然の材料に関わり、思いつ いたことや考えたことを表している。 鑑 ：自然の材料のよさや自他の活動のよさ、 工夫などを感じ取っている。	関 ：自然の材料のよさなどに強い関心を持って集 め、形や色などから思いついた活動を積極的に楽 しんでいる。 発 ：集めた材料の形や色、材質などから活動を豊 かに思いついたり、考えたりしている。 創 ：体全体で自然の材料に意欲的に関わり、思 いついたことや考えたことを自分らしい方法で表し ている。 鑑 ：自然の材料のよさや自他の活動のよさ、工夫 などを十分感じ取って、進んで話し合っている。	教師 ：自然の材料(木の 実、枝、落ち葉、石な ど)、接合に使うもの(麻 ひも、粘着紙テープなど) 児童 ：自分で集めた自然 の材料、使いたい材料や 用具(ひも類、紙テープ)
4-6時間 教科書 p.28-29	A表現(1) ア、イ、 ウ (絵・工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものを見 方や考え方、造形 感覚を養う	あつめて、なら べて、いいかん じ	「ざいりょうの ならべ方 や はり方を くふうす る」ことを通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	いろいろな形や色の落ち葉を集め、材料の形や色、 大きさなどを考えて、並べる、重ねる、組み合わせる など造形的な工夫をして、貼り絵に表す。また、様々 な実情で落ち葉などの自然材料を入手できない地域や 学校には、落ち葉の代わりにお花紙で、同様の貼り絵 を楽しめるようにした。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色をとらえ、これ をもとに自分のイメージをもつ。	関 ：材料の形や色、感触などを生かし た活動を楽しむ。 発 ：集めた材料を並べる、重ねる、組 み合わせるなど、自分の考えや感覚を 大切にしたい想像を広げる。 創 ：落ち葉やお花紙の特徴を生かしな がら、和紙と組み合わせてつくる。 鑑 ：材料のもつ美しさや作品のよさ を感じ取る。	関 ：材料の形や色、感触などを生かした活動 に関心を持ち、楽しんで活動している。 発 ：集めた材料を並べる、重ねる、組み合 わせるなど、自分の考えや感覚を大切にしたい想 像を広げている。 創 ：落ち葉やお花紙の特徴を生かしなが ら、和紙と組み合わせて、工夫してつくっている。 鑑 ：材料のもつ美しさや作品のよさ を感じ取っている。	関 ：材料の形や色、感触などを生かした活動に強 い関心を持ち、体全体で感じながら楽しんで活動 している。 発 ：集めた材料を並べる、重ねる、組み合 わせるなど、自分の考えや感覚を大切にしたい想 像を広げている。 創 ：落ち葉やお花紙の特徴を生かしなが ら、和紙と組み合わせて、自分の思いに合った形を工夫 して意欲的につくっている。 鑑 ：材料のもつ美しさや作品のよさを体全体で感 じ取っている。	教師 ：習字用の半紙や障 子紙、鳥の子紙などの和 紙またはトレーシング ペーパーなどの薄紙、工 作用紙や間伐材のテー プ、洗濯のり、はけ、画 板 児童 ：太筆、タオル、は さみ
6時間 教科書 p.30-31	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものを見 方や考え方、造形 感覚を養う	カッターナイフ タワー	「カッターナイフで、紙 の 切り方を くふうす る」ことを通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	カッターナイフで紙を切る技能を正しく身につけ、 窓の切り抜き方や模様の切り抜き方、紙の折り方など を試しながら立体的なタワーをつくる。 〔共通事項〕との関連 紙を折って立てた形や、カッターナイフで切り込み を入れた形、画用紙の色などから自分が表したいもの のイメージをとらえる。	関 ：カッターナイフで紙を切る快さを 味わいながら紙工作をすることを楽し む。 発 ：紙の折り方や窓の形、画用紙の色 の組み合わせ方などを様々に試しなが ら考える。 創 ：安全で正しいカッターナイフの扱 い方を身につけ、紙に美しく切り込み を入れて立体的に表す。 鑑 ：部分の美しさや組み合わせた美し さ、自他の表現のよさなどを味わう。	関 ：カッターナイフで紙を切る快さを味わいなが ら紙工作をすることを楽しんでいる。 発 ：紙の折り方や窓の形、画用紙の色 の組み合わせ方などを様々に試し、豊かに発想してい る。 創 ：安全で正しいカッターナイフの扱い方を身 につけ、紙に美しく切り込みを入れて立体的に表す 方法を意欲的に工夫している。 鑑 ：部分の美しさや組み合わせた美しさ、自 他の表現のよさなどを十分に味わい、積極的に話し 合っている。	関 ：カッターナイフで紙を切る快さを味わいなが ら紙工作をすることに強い関心をもって楽しんで いる。 発 ：紙の折り方や窓の形、画用紙の色 の組み合わせ方などを様々に試し、豊かに発想してい る。 創 ：安全で正しいカッターナイフの扱い方を身 につけ、紙に美しく切り込みを入れて立体的に表す 方法を意欲的に工夫している。 鑑 ：部分の美しさや組み合わせた美しさ、自 他の表現のよさなどを十分に味わい、積極的に話し 合っている。	教師 ：カッターナイフ、 カッターナイフ用マッ ト、色画用紙、色厚紙、 木工用接着剤 児童 ：折り紙など装飾に 使える材料、安全な服装 (太ももが露出しない服 装など)
2時間 教科書 p.32-33	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものを見 方や考え方、造形 感覚を養う	形と色でショート チャレンジ 形の「かくれん ぼ」	「もとの 形から 新しい 形を 見つけて かく く ふうする」ことを通し て、形や色、方法や材料 を工夫する力を培う	画用紙を複数のパーツに自由に切る。切り取った不 定形から思いついたものをかき加え、かいたものを再 びパズルのように組み合わせる鑑賞する。あるいは、 好きなものをかいて切り取り、裏返した形から思いつ いたものをかく。 〔共通事項〕との関連 不定形からイメージを広げ、表現したいものを思いつ く楽しさを知る。	関 ：不定形から思いついたものをか いて楽しむ。 発 ：不定形に切り取った画用紙から表 現したいものを思いつく。 創 ：不定形にかきたいものの形や色を 工夫してかき足す。 鑑 ：自分や友達の発想のおもしろさ や作品のよさを感じ取る。	関 ：不定形から思いついたものをか いて楽しんでいる。 発 ：不定形に切り取った画用紙から表 現したいものを思いついている。 創 ：不定形に、かきたいものの形や色を工夫 してかき足している。 鑑 ：自分や友達の発想のおもしろさや作品の よさを感じ取っている。	関 ：不定形から思いついたものを自由にか いて積極的に楽しんでいる。 発 ：不定形に切り取った画用紙から表 現したいものを意欲的に思いついている。 創 ：不定形にかきたいものの形や色をいろいろ 工夫し、効果的にかき足している。 鑑 ：自分や友達の発想のおもしろさや作品のよ さを進んで感じ取っている。	教師 ：画用紙 児童 ：クレヨン、パス、 カラーペン

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4-6時間 教科書 p.34-35	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	うつつて 見つけて	「かた紙をつかった は ん画の うつつ方を ため したり、見つけたりし て、あらわしたいことを 思いつく」ことを通し て、試したり、見つけた り、考えたりして、思い つく力を培う	ローラーや版を使って版遊びを十分に楽しみ、写す ことを試したりしながら発想を広げて型紙版画(ステ ンシル)に表す。写してみたい形や色を工夫したり、 いろいろな写し方に関心をもったりしながら表してい く。 写したものをから想像を広げて、クレヨンやカラーペ ンなどでかき加えていく。 〔共通事項〕との関連 様々な形を写し取る活動を通して、形や色をとら え、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。	関 ：ローラー遊びなどに関心をもち、 版で表す。 発 ：ローラー遊びやステンシルの表現 から自由な発想や想像をふくらませ る。 創 ：版を使った表現を試しながら、繰 り返しや重なりなどの工夫をする。 鑑 ：自分や友達の表現から発想の楽し さや版のよさを感じ取る。	関 ：ローラー遊びなどに関心をもち、版で表 そうとしている。 発 ：ローラー遊びやステンシルの表現から自 由な発想や想像をふくらませている。 創 ：版を使った表現を試しながら、繰り返 しや重なりなどの工夫を表現に生かしている。 鑑 ：自分や友達の表現から発想の楽しさや版 のよさを感じ取っている。	関 ：ローラー遊びなどに強い関心をもち、意欲的 に版で表そうとしている。 発 ：ローラー遊びやステンシルの表現から自由な 発想や豊かに想像をふくらませている。 創 ：版を使った表現をいろいろ試しながら、繰り 返しや重なりなどの工夫を効果的に表現に生かし ている。 鑑 ：自分や友達の表現から発想の楽しさや版のよ さを深く感じ取っている。	教師 ：スポンジロー ラー、クリアファイルな どの透明シート、カッ ターナイフ、カッター マット、共同絵の具(版画 用水性インク)、練り板、 画用紙 児童 ：はさみ、古新聞 紙、タオル
4時間 教科書 p.36	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	かぶって へんしん	「お花紙で おめんの つ くり方を くふうする」こ とを通して、形や色、方 法や材料を工夫する力を 培う	かぶって楽しむお面や帽子などを、お花紙を使った 張り子でつくって楽しむ。新聞紙をつめ込んだビニル 袋やプラスチック容器などを組み合わせて型をつく り、のり水をつけたお花紙を貼り重ねて張り子状のか ぶりものをつくる。 〔共通事項〕との関連 お面の形のおもしろさやお花紙の色の美しさなどを 楽しみながら形や色をとらえ、自分のつくりたいかぶ りもののイメージをもつ。	関 ：お花紙のカラフルな張り子のかぶり ものをつくったり、かぶったりして 楽しむ。 発 ：自分がつくりたい張り子の形や色 の組み合わせを思いつく。 創 ：土台の型のつくり方や張り子にす るお花紙の貼り方などを確かめなが ら、形や色を工夫してつくる。 鑑 ：張り子をかぶって友達と楽しく遊 びながら見合う。	関 ：お花紙のカラフルな張り子のかぶりもの をつくったり、かぶったりして楽しん でいる。 発 ：自分がつくりたい張り子の形や色の組 み合わせを思いついている。 創 ：土台の型のつくり方や張り子にするお 花紙の貼り方などを確かめながら、 形や色を積極的に工夫してつく っている。 鑑 ：張り子をかぶって友達と楽しく遊 びながら見合っている。	関 ：お花紙のカラフルな張り子のかぶりもの をつくったり、かぶったりすることに 強い関心をもっている。 発 ：自分がつくりたい張り子の形や色の組 み合わせを豊かに発想を広げなが ら考えている。 創 ：土台の型のつくり方や張り子に するお花紙の貼り方などを確かめ ながら、形や色を積極的に工夫し てつくっている。 鑑 ：かぶって友達と楽しく遊ぶなど して、張り子の楽しさを深く味 いながら見合っている。	教師 ：お花紙、ビニル 袋、ビニルテープ、洗濯 のり、ボウル、トレー 児童 ：新聞紙、はさみ、 型にするプラスチック容 器類（カップ、カプセル など）
2-4時間 教科書 p.37	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	どきどきカード	「思ったことを ひらく カードにして たのしむ」 ことを通して、心を開 き、楽しく活動し、友達 や人と関わり合う力を培 う	生活の中で楽しかった出来事、うれしかったことな どをカードにして表す。絵や文章をかいた画用紙を他 の紙に貼るなど、絵を見るときに扉を開いて見るよう な楽しいしかけをもったカードを工夫してつくる。 〔共通事項〕との関連 楽しかったことやうれしかったことなどを思い浮か べて、その形や色を考えて、カードのイメージをも つ。	関 ：生活の中から自分が楽しいと感じ たことやうれしかったことなどを 絵と文章にして表すことに興味 や関心をもつ。 発 ：楽しかったことやうれしかった ことなど、表したい場面を思 いつく。 創 ：表したい内容に合わせて、 形や色、開き方を工夫して表 す。 鑑 ：自分や友達の表し方のよ さや違いを見つつけたり、 気づいたりする。	関 ：生活の中から自分が楽しいと感じた ことやうれしかったことなどを 絵と文章にして表すことに興 味や関心をもっている。 発 ：楽しかったことやうれしかった ことなど、表したい場面を思 いついている。 創 ：表したい内容に合わせて、 形や色、開き方を工夫して表 している。 鑑 ：自分や友達の表し方のよ さや違いを見つつけたり、 気づいたりして積極的に話し 合っている。	関 ：生活の中から自分が楽しいと感じた ことやうれしかったことなどを 絵と文章にして表すことに 強い興味や関心をもっている。 発 ：楽しかったことやうれしかった ことなど、表したい場面を次 々と思いついている。 創 ：表したい内容に合わせて、 形や色、開き方を工夫して 効果的に表している。 鑑 ：自分や友達の表し方のよ さや違いを見つつけたり、 気づいたりして積極的に話し 合っている。	教師 ：画用紙、色画用 紙、共同絵の具 児童 ：クレヨン、パス、 カラーペン、はさみ、の り
4-6時間 教科書 p.38-39	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図ったり、総合的 な造形表現活動を 経験させたりする	ピコリン星 ゆめのステ ージ	「つくったものを みんな で力を合わせててんじ して、たのしむ」ことを 通して、心を開き、楽し く活動し、友達と関わり 合う力を培う	これまでに経験してきた表現を生かしてつくり、み んなで協力して展示する。テーマは、自分の夢やあこ がれ、してみたいこと。自分自身をピコリン星人に置 き換えて、夢や願いをかなえている自分自身をつくる ようにするとよい。 〔共通事項〕との関連 今までの経験をもとに形や色、材料の組み合わせな どを試しながら、自分の夢や願いをふくらませてつ くりたいピコリン星のイメージをもつ。	関 ：ピコリン星人をつくったり、夢の ステージで紹介して展示したりする ことに興味や関心をもつ。 発 ：自分の夢やあこがれ、してみ たいといったテーマ、材料など から、表したいピコリン星の 様子を思いつく。 創 ：材料の特徴やこれまでに経験 したつくり方を生かして、表 し方を工夫する。 鑑 ：みんなでつくった作品の展 示方法を工夫しながら、自 他の作品のよさを見つける。	関 ：ピコリン星人をつくったり、夢の ステージで紹介して展示したり することに興味や関心をも っている。 発 ：自分の夢やあこがれ、してみ たいといったテーマ、材料な どから、表したいピコリン 星の様子を思いついている。 創 ：材料の特徴やこれまでに 経験したつくり方を生かして、 表し方を工夫している。 鑑 ：みんなでつくった作品の 展示方法を工夫しながら、 自他の作品のよさを見つ けている。	関 ：ピコリン星人をつくったり、夢の ステージで紹介して展示したり することに強い興味や関心 をもっている。 発 ：自分の夢やあこがれ、してみ たいといったテーマ、材料な どから、表したいピコリン 星の様子を積極的に思いつ いている。 創 ：材料の特徴やこれまでに 経験したつくり方を生かして、 効果的な表し方を工夫して いる。 鑑 ：みんなでつくった作品の 展示方法を意欲的に工夫 しながら、自他の作品のよ さを進んで見つけている。	教師 ：モール、軽量紙粘 土、色紙、ホチキス、化 学接着剤、透明テープな ど 児童 ：透明容器、容器の 中に入れる材料やまわり を包む身辺材、はさみ、 接着剤、セロハンテー プ、ビー玉、ビーズなど これまでに経験した材料

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
教科書 p.2-4	B鑑賞 (1)ア、イ		小さな びじゅつかん		「小さな美術館」では、各学年の発達や課題に即したテーマを設定している。誌面にはテーマに関連する作家作品のほか、児童作品や活動風景なども掲載し、表現活動とのつながりにも配慮した。また、児童が興味をもって作品と出合えるように、先生や友達が語りかける形で鑑賞の視点を示している。さらに、どの学年においても1ページ大で扱う作品を取り上げ、教室での鑑賞資料として活用できるようにした。 ここでは「みんな友だち」をテーマに、動物を表現した作品を取り上げている。親しみのある動物たちを窓口にしなが、子どもたちに多様な表現の楽しさに気づかせていきたい。				
教科書 p.6-7	B鑑賞 (1)ア、イ		ゆめをかたち に		児童がその学年で出合う材料や表現方法を使っている作家の作品と児童へのメッセージである。 ここでは、アーティストの大曾根朝美さんに登場していただき、造形材料としての布の魅力子どもたちに呼びかけるような文で語ってもらった。				
教科書 p.18-19	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		ひらめきコー ナー		立体的、工作的な構造や、動かしたり飾ったりする造形のもつ機能を楽しみながら、造形表現の経験を豊かにしようとする内容である。身近な紙や紙製品を表現材料とし簡単な操作を加えながら、形や色、大きさや重さ、厚みや硬さ、丈夫さやもろさ、弾力性や光の透過性、手触りや肌触りなど紙のいろいろな種類や性質、特性などを感じ取らせたい。また同時に、手先、指先の動きや用具の扱いなど技能や技術に関わる能力を高めることも期待できる。 絵や模様などを加飾したり、構造や仕組みの工夫、遊び方や飾り方に児童の“ひらめき”が生きたりするところも多い。造形への関心や興味を高め、自由で豊かな表現を数多く経験させたい。 段ボール、牛乳パック、封筒、紙コップなどの本来の使用目的から離れて表現材料として再利用することに関心を高め、収集や分解、保管の方法などにも目を向けさせたい。				色画用紙、造形紙(色厚紙)、糸、楊枝、封筒、段ボール紙、紙コップ、LEDライト、はさみ、のり、カラーペン
教科書 p.40-41	B鑑賞 (1)ア、イ		みんなの ギャラリー		暮らしを豊かで楽しいものにするために造形が果たす役割は大きい。そのために、児童が関心をもてるような行事や祭り、イベントなどを紹介している。 ここでは、「みんなでいっしょに」「教室を飛び出して」の二つのテーマでくくっている。				
教科書 p.42-43	A表現(2) ア、イ、 ウ（絵）		パレットコー ナー		各学年の発達の段階において必要な描画材料の基本的な使い方を示した。ここでは、クレヨン・パスのかき方、重色などを掲載している。また、型紙を使う方法やはじき絵（バチック）、ひっかき絵（スクラッチ）も扱っている。 パレットコーナーでは、全学年とも「造形コレクション」のコーナーを設け、児童が絵をかくときの発想・構想のヒントとして活用できるようにした。ここでは、「いろいろな動物」を掲載している。				

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
教科書 p.44-45	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		どうぐばこ		道具は、材料とともに造形活動になくてはならないものである。児童が自らの思いを実現させるために、道具の正しく合理的な使い方を知ることは大切なことである。そのための手引きとなるページである。 ここでは、カッターナイフの使い方を中心に、はさみの使い方を復習として掲載している。 また、「ざいりょうはたからもの」では、材料を集めることから造形活動は始まるという視点から、主に低学年で扱う材料を掲載している。				
教科書 裏表紙	B鑑賞 (1)ア、イ		つながるぞうけい		下巻では「つながるぞうけい」をテーマとして、学年に応じて、児童の様々な活動の写真を掲載している。 低学年では、友達といっしょに活動することによって、表し方や感じ方が広がることを掲載している。				